

＜児童の実態＞

- 具体的な目標を設定すると、熱心に取り組む。
- 粘り強く考え意欲的に取り組む。
- 自分のあり方を見つめ、友だちを大切にしようとする。
- 自ら課題を見つけ追究していく力がやや弱い。

＜学校教育目標と7年度の重点目標＞

- よく考える子ども 最後までやりぬく子ども
心ゆたかな子ども 健康な子ども
- ・家庭や地域に開かれた学校づくり
 - ・学力調査を活用した学力向上策
 - ・学び合い 認め合い 協力し合う

＜総合的な学習の時間の目標（学習指導要領）＞

- 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- （１） 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- （２） 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- （３） 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

＜保護者の願い＞

- ・友だちと仲良く協力できる子。
 - ・基礎的・基本的な学力をしっかりと身につける子。
 - ・のびのびと自己表現できる子。
 - ・自分に自信がもてる子。
- ＜地域の願い＞
- ・地域を知り、誇りをもてる子。
 - ・地域のことを考え、自分も役立とうとする子。

＜目標＞

- ①確かな願いと自分なりの解決への見通しをもって、新たな課題を生み出しながら、主体的に解決していく力を育てる。
- ②各教科等の学習を通して身に付けた知識や技能を、相互に関連付け、それらを総合的に働かせ、生活や学習に生かす態度を育てる。
- ③問題の解決に向けて、友や地域の人と協同して、主体的・創造的に取り組む態度を育てる。
- ④さまざまなもの・こと・人と繰り返しかわりながら、ものの考え方や自己の生き方を考えることができるようにする。

＜地域のひと・もの・こと＞

- 【ひと】海苔すきの職人・幼稚園、保育園のお友だち・商店や飲食店の方・ろう学校の友達・老人ホーム・ボランティアの方・老人会の方
- 【もの】香取神社・新川・葛西臨海公園・葛西駅・船堀駅・図書館
- 【こと】葛西まつり・地域盆踊り

＜育てようとする資質や能力及び態度＞

	3・4年	5・6年
学習方法	・体験したことを通して疑問や関心をもち課題を見付ける。 ・調べる方法を工夫しながらあきらめずに最後まで追究する。	・対象との関わりの中から自分の課題を見付け、広めたり深めたりしながら追究する。 ・課題追究の方法や情報の効果的な活用を考える。
自分自身	・自分を取り巻く環境や様々な人々に目を向け、自分とのつながりに気づく。また、学んだことを自分の生活に生かす。	・学習の中で身に付けた知識や技能・判断力等をその他の学習や自分の生活の中で生かす。また、自分の在り方を考え行動できる。
他者や社会	・学習してきたことを振り返り、自分なりの考えや思い、成果や課題をまとめる。また、発表の仕方を工夫し相手に伝える。	・自分が調べたことを、分かりやすく伝える方法を選んで、効果的にまとめ発表する。また、異なる立場の考えを聞き、考えを深める。

＜内容＞

	学習対象	学習事項（中学年）	学習事項（高学年）
環境	身近な自然環境や今起きつつある環境問題	身近な自然に進んで親しみ、体験を通して自然の大切さに気づく。	身近な環境問題への関心を高め、自分ができることを考え実践する。
福祉	地区の高齢者、障害者、年少者とその暮らしを支援する仕組みや人々	高齢者、障害者、年少者について理解しそれぞれの存在の大切さに気づくと共に優しい気持ちで接する。	全ての人が生き生きと安心して生活できる社会について考え、できそうなことを実践する。
国際	自国や他国の歴史や文化や人々	ALT との交流を通して他国の文化への関心を高める。	他国の人々に積極的にかわり、国際社会の一員としての自覚をもつ。
地域	地域の伝統や文化と地域のために努力する人々	〇〇地区に生活する人々の思いを感じ取り地域への愛着を深める。	地域の人々との関わりを深め、地域の一員としてよりよく生きていこうとする態度を養う。

＜各学年の題材例＞

3年	・コンピュタリテラシー ・小松菜博士になろう ・葛西の町博士になろう	5年	・稲を育てよう ・コンピュタリテラシー ・6年生の準備をしよう ・椋鳩十の作品紹介をしよう ・妙高パンフレットを作ろう
4年	・環境について ・コンピュタリテラシー ・10歳のわたし ・福祉について	6年	・日光について調べよう ・コンピュタリテラシー ・お世話になった人に感謝の気持ちを伝えよう

＜指導方法＞

- ・個々の願いの醸成にはじっくりと時間をかけ切実感へと高める。
- ・個々の課題意識をみとり、それを整理しながら次の課題が生まれるように支援していく。
- ・十分に活動に浸り込める時間と場を保障する。また、五感を使って試行錯誤できるような体験活動を多く取り入れる。
- ・友だちとかかわりが必然的に生まれる学習形態や学習活動を工夫し展開する。
- ・体験したことや友とのかかわりなどを自覚できるような表現（言語）活動を適切に位置づける。
- ・地域の方や保護者、交流相手からの評価、感想等をお願いし、学習材や自己評価の材料として位置づける。
- ・教科学習との関連性を重視しながら指導を進める。

＜指導体制＞

- ・学校教育計画（グランドデザイン）への位置づけ。
- ・総合的な学習運営係を中心にした年間構想・まとめの作成。
- ・地域等の人材活用・教育機関等との連携。
- ・地域の学習材の紹介。地域参加型カリキュラムの作成。
- ・活動の場（空き教室）の整備。

＜学習の評価＞

- 学習カード
- 活動観察
- 作品
- 聞き取り
- 意識調査
- ・自己評価
- ・相互評価
- ・外部評価
- ・活動の様子・発言・つぶやき・表情
- ・作品の工夫・完成したもの
- ・課題設定の理由・学習計画・まとめ
- ・活動の事前、追究段階、アンケート